

## 第152回 EDUCAUSE 2012 in Denver 参加報告

- EDUCAUSE 2012に参加(初)。
  - 高等教育におけるICT活用の最先端の知見を職場に還元し、参加者間のネットワーキングの機会を利用することによって、国内外の高等教育・ICT関係者とのつながりを構築すること。(実際の様子)
- プレカンファレンスセミナー「eポートフォリオ」に参加。
  - eポートフォリオとルーブリック
  - ビデオ撮影してYouTubeにアップ
- GSIS関係者は4名
- 将来的な野望(?)

# EDUCAUSEとは？

<http://www.educause.edu/>

- IT(情報技術)の活用によって、高等教育を進歩させることを使命とする、米国のNPO。1,800の高等教育機関、300のIT関連企業が加盟。2012年は約8,000名が参加。基調講演、分科会、ポスターセッション、展示会を行う。年に1度年次大会が開催される。
- 日本人の参加は約40名(大学の教職員、企業)AXIES(大学ICT推進協議会)による日本人参加者向けセッションを開催。
- 2012年の開催地はコロラド州デンバー。2013年はカリフォルニア州アナハイム(予定)。
- CIO、技術分野のマネージャ、テクニカルエンジニア、大学のIT部門の職員など。「Instructional Designer」という肩書きの人も多く参加。学術的な集まりというよりは、実業界の実践交流的なイベント。

# EDUCAUSEの様子



©2013 Keiko NODA

eラーニング推進機構 eラーニング授業設計支援室  
ランチョンセミナー

## プレカンファレンスセミナー「eポートフォリオ」

- “Completing the Cycle: Developing, Implementing, and Assessing ePortfolios”

<http://educauseportfolio.wordpress.com/>

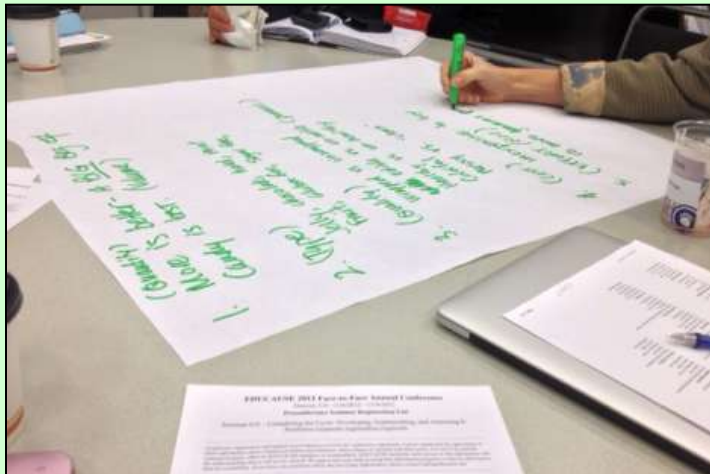
- Virginia Tech U.  
のスタッフによる  
セミナー。  
20名程度が参加  
終日、eポートフ  
リオの実践紹介  
やグループワー  
を行った。



# eポートフォリオとルーブリック

## 「キャンディを使ったルーブリックの基準作り」

- 1つ目のAssessmentワーク。ハロウィンに向けて、「いいキャンディバッグとは何か」を議論し、基準を作る。
- 紙に書き出し、量(大きい袋がいいキャンディバッグか)、質(高いお菓子が入っていればいいのか)、安全(添加物が少ない、グルテンフリーか)、コスト(安く済むほうがいいか)などの議論を行った。



# ビデオを撮影してYouTubeにアップ

- 2つ目のAssessmentワーク。「ビデオ・リフレクション」
- 自分の仕事やセミナーへの意気込みを2-3分で紹介。
- 携帯やパソコンで録画し、YouTubeにアップ。

- Virginia Tech  
メンバーが、  
あらかじめ作成  
していたルーブリック  
を使い、参加者  
同士で評価しあう。  
(トピックへのアプローチ、  
オーディエンスを意識している  
か？リフレクション、カメラ  
テクニック)

Video Reflection - Educause 2012

Use this rubric to evaluate the video reflection of your partner. Please include the video creator's and your own name in the first two fields, then use the drop downs to select a score. Any comments can be placed at the bottom of the form.

\*必須

Video Creator \*

Assessor \*

Approach to Topic \*

4 - Topic material thoroughly and creatively explored with interesting, supporting information, interviews or unique point of view.

3 - Topic material presented with good insights.

2 - Topic material presented with only basic points covered.

1 - No coverage of topic.

0 - n/a

Reflection \*

4 - Reviews prior beliefs in depth to reveal significantly changed perspectives about educational and life experiences, which provide foundation for expanded knowledge, growth, and

Camera Techniques \*

4 - Video is clear and understandable. Remains in constant focus. Any creative technique used for a clear purpose. :

Comments

# GSIS関係者は4名

- GSIS 5期生(2012年3月博士前期課程修了) 3名
- 中野裕司教授  
Denverの有名人「クマ」の前で記念撮影。  
熊つながり??
- 中野先生、野田は期間中開催された  
Sakai Foundation主催  
「Portfolio for the Future of Sakai」  
にも参加。オープンソースポートフォリオの  
開発・導入状況についてのディスカッション。



# 将来的な野望(？)

- ・ 日本で、eラーニングでeラーニングの専門家を養成しているGSISのことをアピールしたい！
  - セッション or ポスター
  - オンラインでインストラクショナル・デザインの学位コースを持っている大学は数多あるけれど....日本の高等教育界のOne and Only。逆に海外の参入を許すかも...？
- ・ GSISから毎年3-4人は参加するべし
  - 修了生が所属する大学や企業の出張扱いがGood。
  - GSIS学生と海外のインストラクショナル・デザイナーの交流
  - 日本とは違う、世界は広い。活躍の場は世界にもある！

